

面接用スペースが好評

就活 オンライン化に対応



広島工業大



大学院1年

手島慶祐

広島工業大（広島市佐伯区）は、学生がオンライン面接に使えるスペースを設けた。新型コロナウイルス禍の中、就職活動のオンライン化が進む。周囲を気にせず集中することができると学生に好評で、活動シーズン中はほぼ予約が入っているほど多くの学生が利用している。

来客用だった就職部の応接室を活用。パソコンを貸し出すほか、ノートパソコンのカメラレンズと目の高さを合わせる台や表情を明るく照らすリ

ングライトも設置した。利用した機械システム工学科3年の埜明穂さん（21）は「面談をスムーズに進められる機材がそろっている。これからも利用したい」と喜んでいった。就職部の石津香世課長は「通信環境や周囲の環境への不安をなくしたかった。企業との面接に落ちていて挑んでほしい」と呼び掛けている。

キャンパスリポーター発



ライトやノートパソコンが置かれたオンライン面接用のスペース